

## 将来像（素案）に対する意見まとめ

### ③ その他

その他、将来像に対するご意見等がありましたらご記入ください。

- ・若い世代が「この町で暮らしたい」とおもえるような、仕事や学びの機会づくりも進めていく必要があると考えます。
- ・将来像は我々ではなく子ども達の世代のためのものです。  
安らぎだけではなく、未来に対し希望が持てる将来像、そして施策が大切だと考えます。
- ・住民にはそれぞれ違う良さや価値観があり、一つの方向性だけに寄せるのは難しいと感じています。ただ、その多様な思いの真ん中に共通してあるのは、「人とのつながり」と「安心して暮らせること」だと個人的には思います。
- ・将来像と施策との整合性が気になります。そのためにも、「つながり」「やすらぎ」は何を意味するのか、委員がしっかり腹に落ちるよう自由な意見交換があればよいと思います。

### ① 将来像（素案）について

#### つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち みのぶ

文化が息づき つながりが安らぎを育む 未来をひらくまち みのぶ

人と自然に支えられ 安心して暮らせるまち みのぶ

ひと・地域がつながり 住みつづけて安らぎを育むまち みのぶ

- ・「未来へ」というキーワードを入れたらどうか？
- ・安らぎ ⇒ やすらぎ
- ・つながりと安らぎの中で ⇒ つながりとやすらぎのなかで

#### <事務局案>

つながりとやすらぎの中で 住みつづけたいまち みのぶ

つながりとやすらぎのなかで 住みつづけたいまち みのぶ

つながりと安らぎのなかで 住みつづけたいまち みのぶ

※ 平仮名表記にするか否かを審議会にて決定

## ② 将来像説明文について

身延町は、自然の恵みと人の温もりに包まれた、心安らぐ町です。人口減少が進むなかで、まちを支えていくのは、ここで暮らす一人ひとりの「暮らしの実感」です。

「住みつづけたい」と感じられるまちは、何か特別な取組だけでつくられるものではありません。日々の暮らしの中にある安心や、誰かとゆるやかにつながっていられる心地よさの中から生まれていきます。

身延町はこれまで、自然とともにある穏やかな暮らしを大切にし、お互いを思いやり、ほどよい距離感を保ちながら、助け合う関係を育んできました。

今ある良さにそっと寄り添いながら、もっているものを活かしあい、「ここが自分の居場所だ」と思える日常を、これからもみんなで積み重ねていきます。

そして、ここに住む人々が誇りを持ち、「これからもこのまちで暮らしたい」と思える、「つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち みのぶ」を目指していきます。

### <文化が息づき つながりが安らぎを育む 未来をひらくまち みのぶ>に対する説明文

身延町は、長い歴史と文化が受け継がれてきた町として、その魅力を大切に守りながら、住んでいる人が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていきます。

山や川の自然、文化や伝統行事、地域に根差した産業など、身延町ならではの恵みを未来へつないでいくことを目指します。

また、人と人とのつながりが希薄になりがちな時代だからこそ、地域のつながりや互いの支え合いを大切にし、誰もが安らぎを感じられる町を育んでいきます。

子どもから高齢者まで、多様な人々が自分らしく暮らし、活躍できる環境づくりを進めることで、文化が息づき、つながりが安らぎを育むまちとしての魅力をさらに高め、未来をひらくまちの実現を目指します。

・つながりとやすらぎが、これまでの身延町のなかにすでにある価値であり、それを継承し維持していくという趣旨はよいと思います。しかし、現状肯定のニュアンスが強いため、現状に危機意識を持っている住民に響かない恐れがあります。政策目標や施策につながるキーワードを盛り込み、将来に向けた町政をイメージさせるような説明文であればベターと考えます。

- ・世代を超えた人とのつながり
- ・ここが ⇒ このまちが
- ・つながる
- ・支える
- ・未来へ
- ・この町らしさ
- ・心安らぐ町 ⇒ 心やすらぐ町

- ・ここが自分の居場所だ ⇒ ここがわたしの居場所だ
- ・そういった自分らしい距離感で人や地域と関わることで、安心して暮らし続けられる基盤になります。
- ・世代を超えて住みつづけたいと思える町を未来へ引き継いでいくことで、

### <事務局案>

身延町は、急速な人口減少と少子高齢化という課題を前に、未来を真摯に選び取る転換点にあります。何を守り何を創るか、私たちは今、その重要な局面に立っています。

一方で、本町は自然の恵みと人の温もりに包まれた心安らぐ町です。「住み続けたい」と感じられる町は、特別な取組だけで成り立つものではありません。日々の安心や自分らしい距離感でつながる心地よさといった「暮らしの実感」こそが、身延町が持つ何よりの財産です。

受け継がれてきた伝統や絆を土台に、今ある良さを活かして「この町がわたしの居場所だ」と思える日常を未来へつないでいきます。

そして、ここに住む人々が誇りを持ち、「これからも身延町で暮らしたい」と思える、「つながりと安らぎの中で 住みつづけたいまち みのぶ」を目指していきます。

※「心安らぐ町」・「安らぎの中で」の表記は将来像に合わせる